



令和7年度からスタートする
協働事業提案制度事業

協働の事例紹介

今回は、市民と行政が協働して事業を行う「協働事業提案制度」として、令和7年度から新たに実施を計画する3事業と行政提案型協働事業について紹介します。

市民提案型

里山の環境を未来へ繋げる 担い手育成事業

NPO法人
ふじの里山
くらぶ
藤野
まちづくり
センター

藤野地区を含む中山間地域では、少子高齢化が進み、これまで地域が担ってきた活動を継続することが困難になってきています。将来に向けて、良好な里山の環境を保全するための人材を育成するため、体験型のワークショップを開催し、中央区や南区、近隣から広く参加者を集めます。参加者からボランティアを確保し、将来の担い手を発掘していく事業です。



市民提案型

木炭蓄電池のソーラーシステム製作 を通じた「脱炭素」意識を醸成する環 境教育ワークショップ事業

「脱炭素」を市民および子ども達が具体的にイメージし行動するきっかけになるよう、木炭蓄電池のソーラーシステムで地産地消型のエネルギー供給モデル作りを学べる環境教育ワークショップを行います。ワークショップは夏休みに多く開催する予定なので、お子さんと一緒にぜひ参加を検討してください。

特定非営利
活動法人
Class for
Everyone
ゼロ
カーボン
推進課



市民提案型

農園を活用した児童福祉支援事業



さまざまな要因により、学校に通うことができない子どもを対象にトモダチ園という農園を活用した農作業や工作などのワークショップを通じて社会参加へのキッカケやつながりが感じられる場を作る事業です。青少年相談センターの専門的知見を反映しながら、より子どもや保護者にとって参加しやすい環境をめざしています。

福祉支援活動
トモダチ園
青少年
相談
センター



【協働事業提案制度★行政提案 大募集！】

市民と一緒に、地域の課題を解決しませんか？「協働事業提案制度」では、市が課題や事業のアイデアを出し、市民団体とタッグを組んで実施する行政提案を募集中です！特に、各計画で掲げられているものの、なかなか進められていない事業や推進が難しい事業について、協働の力で前進できる可能性があります。「市民と一緒に実現できるかも！」と思うテーマをぜひ提案してください！

心当たりのある事業がございましたら、当課の担当が直接伺い、ご相談させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

📅 締切り : 令和7年2月28日(金)

マンダリンの後ろ姿のイラスト

小さな気づきが、大きなまちの変化につながる！
皆さんのアイデア、お待ちしております！



地域活動・市民活動ボランティア認定制度

～過去最多の135名及び12団体を認定しました～

一定時間以上の地域貢献活動を自主的に行った大学生及び大学生によって構成される団体に対して、市として認定を行う「相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度」の認定証贈呈式を令和7年2月4日（火）に開催し、多くの学生（認定者）にご出席いただきました。今年度も135名及び12団体を認定し、学生によるボランティア活動の一層の盛り上がりを感じられました。



(間もなく更新)



市長から一人一人に認定証の贈呈がされました

認定証の贈呈が終了した後、認定者を代表して幾野美柚（いくのみゆ）さんからご挨拶いただきました。幾野さんは活動を通して「学生が地域で活躍できるよう、新たなつながりの場をプロデュースしていきます。そして、さらに多くの学生がこのボランティア認定を受けられるよう、尽力していきたい」と話していました。

認定されたみなさま、学業の合間を縫ってボランティア活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。



幾野美柚さん

広報さがみはら2月1日号に『市民活動』が特集掲載されました！！

市民活動 小さなことから始めてみませんか

「住みよいまちをみんなで」をテーマに、市民活動の魅力が特集されました。自治会やボランティア、NPOの取り組みが紹介され、地域の支え合いがまちをより良くすることを伝えています。

市内には583の自治会があり、防犯や防災、地域イベントの運営など、住みよい地域づくりに貢献しています。特にグリーンハイツ町田自治会では、一人の住民が始めた草刈りをきっかけに協力の輪が広がり、地域のつながりが深まった事例が紹介されました。自治会長の大貫さんは「災害時に助け合える関係づくりが大切」と語ります。

また、市民団体の活躍も紹介しました。ボランティアグループ「青い鳥」は、使わなくなった帯をアップサイクルし、販売収益を福祉支援に活用。NPO法人「いごちよか」は障害児者の余暇活動の場を提供し、地域のつながりを深めています。

市では協働事業提案制度や地域活性化事業交付金など、市民活動を支援する制度を紹介。記事では、「何か始めたい！」と考えている方に向け、自治会やボランティア活動への参加を呼びかけています。

詳しくはQRコードからぜひご覧ください！



◆編集後記◆

今年度2号目です。文章量に気をつけて読みやすさを意識して作りました。

今回広報さがみはらの特集に携わらせてもらいましたが、市民に情報を伝える工夫とこだわりを感じることができました。今後の協働ニュースにも活かしていきたいと思えます。